

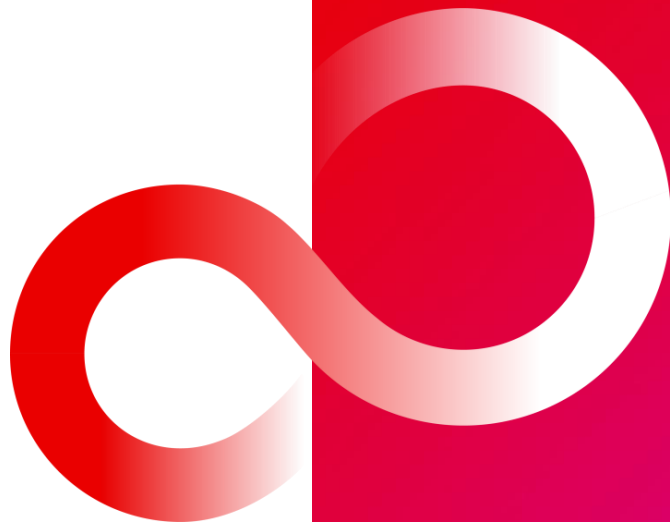
# ORTについて

2021年11月

富士通 FCTグループ

ソフトウェア事業部 ソリューション開発部

長谷川賢一



- OSS Review Toolkitの略称
- Linux Foundation傘下のプロジェクト
- オープンソースコードのライセンス分析を行うOSSツール
  - ライセンス分析の際、ソースコードのみならずソースコードの依存関係も確認する.
  - 依存するOSSのソースコードを自動でダウンロードしてきたり, OSSの依存関係などを分析したレポートの作成機能やそれらを評価ツールも併せ持つ.
  - 公式では[A suite of tools to assist with reviewing Open Source Software dependencies.]と説明されている.
  - <https://github.com/oss-review-toolkit/ort>
- 2020年3月時点のバージョンではCUIでの操作が主。GUIで操作するFOSSologyなどのツールとは少し異なる.



**OSS  
Review Toolkit**

## ○ Analyzer(Apache 2.0)

- 指定したプロジェクトファイル内のパッケージなど依存関係を調査するツール。
- 入力とは分析を行うプロジェクトのディレクトリ。出力は分析結果の出力場所。
- 結果は各パッケージの入手先URL、ライセンス情報など。
- 数多くのパッケージマネージャに対応。

## ○ Downloader(Apache 2.0)

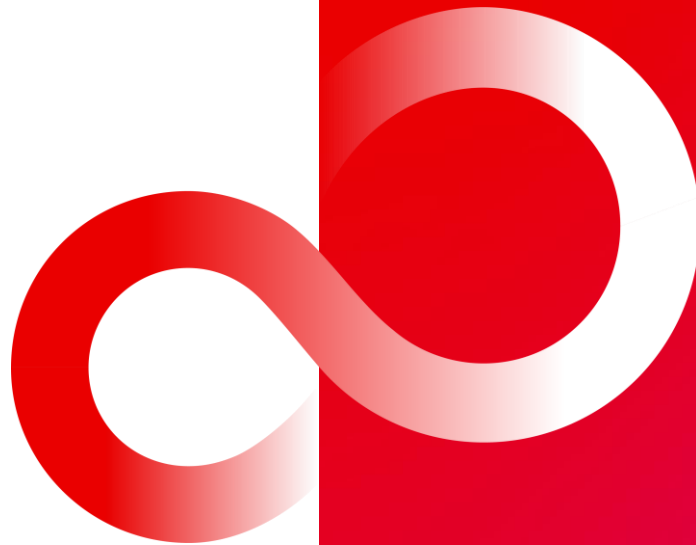
- Analyzerが出力した結果を参照し、分析するコードをダウンロードするツール。
- 入力とはAnalyzerが出力した分析結果。出力はソースコードをダウンロードする場所。
- 以下のバージョン管理システムをサポート。
  - Concurrent Versions System
  - Git
  - Git-Repo
  - Mercurial
  - Subversion

- Scanner(MIT)
  - ローカルに保存されているソースコードのライセンスとコピーライトを調査するツール。
  - 実際には以下のツールを利用する。デフォルトはScanCode。  
FossID、ScanCode、Askalono、Ic、Licensee
- Advisor(Apache 2.0)
  - Analyzer の結果からセキュリティの問題を取得するツール。
  - 入力 は Analyzer の分析結果。出力 は セキュリティ分析結果。
  - セキュリティ分析結果は、既知のセキュリティ情報を元に分析し、対象のソースコードと脆弱性の重大度が出力される。
- Evaluator(Apache 2.0)
  - ユーザがカスタマイズできるOSS利用ポリシー規則に従いライセンスの評価を行うツール。
  - OSS利用ポリシー規則の主なキーワードには“permissive” “copyleft” “copyleft-limited” “public-domain”

## ○Reporter(Apache 2.0)

- 様々な書式で結果をわかりやすく表示するツール。
- 以下の形式がサポートされている。
- AsciiDoc Template
- ctrlX AUTOMATION FOSS information
- CycloneDX BOM
- Excel sheet
- GitLabLicenseModel
- NOTICE file
- Opossum
- SPDX Document, version 2.2
- Static HTML
- Web App

**Thank you**



- 日本語説明ページ

- <https://qiita.com/K-Hama/items/5c1d4759fd5cbcf397b2>

- GUI動画

- <https://youtu.be/rpDraJdpjgE?t=918>

- <https://www.youtube.com/watch?v=doGGU-ZPyQ0>